

西 六ッ美 福祉だより

発行 六ッ美西部学区
福祉委員会

学区福祉の活動をめざして

六ッ美西部学区

福祉委員長 石川保夫

昨年の五月二十九日 設立発足した 六ッ美西部学区福祉委員会は、委員と関係者のご協力によって、予定の行事を終えることができました。

この一年を振り返って見ますと、七十五歳以上で独り暮らしの方 四十三名を年六回、担当民生委員を主体に『お元気ですか』と尋ね、安否確認、見守り活動をし、激励訪問をしてまいりました。

健康講座を十月二十九日市民ホームにおいて顧問の小出クリニック 小出義信院長を講師に迎えて、脳梗塞、心筋梗塞、高血圧、糖尿病などの現代病である『生活習慣病の予防と知識』と題して有意義な話を聞きました。

肥満にならないよう適当な運動と食事には、塩分や肉類を減らし、魚や野菜を多く食べ健康を維持するようにと、具体的にユーモアを交え話をしていたいただき、参加した一三〇名の方に喜んでいただきました。

また、十二月八日には、愛知健康プラザと特別擁護老人ホーム武豊福寿園に三十二名で視察研修を実施いたしました。

今年は、これ等に加えて、独り暮らしの方達を最寄の公民館などに招いて、九月に懇親と食事を

を計画しております。また、新たに寝たきりなどで不自由をされている方に訪問して、励ましをする事業も考えております。

少子高齢化が急速に進む中（別表掲載参照）福祉委員会の役割は非常に重要だと認識し、さらに一層充実した会とし、学区の皆さんが、いつまでも健康で安心して暮らせるようにしたいと念願しております。



第一回子育て支援『なの花』
親子で一緒に遊んでいる様子

激励訪問の様子

向って右より 石川保夫さん

武藤治夫さん 松下義明さん



民生委員 児童委員として

西部学区民生委員 児童委員

会長 松下義明

我が六ッ美西部学区民生委員 児童委員は十二名の委員で協議会を構成しております。常日頃一人暮らし高齢者の見守り活動の他、少子化対策として子育て支援『なの花』を六ッ美西部市民ホームを会場にして年三回を目標として始めた。

第一回は五月十五日に行ったところ、学区の乳幼児親子始め市内各町より多数の方々が参加して頂けました。

また、近年では、日本各地で自然災害が多発しており地震を初め台風や集中豪雨により各地で大きな被害が発生しております。

災害に対しての不安を抱くと共に災害に対する対策を講じることの必要性を強く感じます。この様な緊急時には、『遠い親戚より近い他人、向こう三軒両隣』と昔から言われております様に隣人愛が特に大切だと思います。

福祉委員会の役割・活動にご協力を！

在宅福祉推進部 多湖雅子

『子供叱るな、来た道だ。年寄り嗤うな、行く道だ』
こんな言葉がありますね。

確かに、年をとる、体力が衰える、寝込んでしまうと、誰もが避けては通れない道です。

福祉委員会では、七十五歳以上の一人暮らしの方のお宅を年六回激励訪問しております。大変喜んでいただけますが、老夫婦二人の世帯も、障害者、認知症、寝たきりの方をお世話する世帯も、やはり大変不安な日常をお過ごしのことでしょう。数の限られた福祉委員のみの活動の及ばないところも多々あると思います。

地域の皆さんのご近所にそのような世帯がありでしょうか。最近心配されている東海地震などの災害時にもとより、日常の声掛けや手助けなど、ご近所の方の目や耳が一番の便りです。福祉委員会の役割はそのような世帯を把握し、どんな支援が必要か、ご近所の方にどんなご協力をお願いできるかを検討すること、

そして実行に移し活動することだと思ひます。

是非ご近所のお年寄り 手助けを必要とされている方を心に懸けていただき、福祉委員会にご協力いただきたいと思ひます。

高齢者の健康推進と

地域参加の交流を目指して

健康推進員 石原久美

西部市民ホームで第二、第四 月曜日に『ふれあい健康クラブ』を開催しております。対象者はおおむね六十歳以上の方です。

高齢化等により心身機能が低下し日常生活の自立にさまざまな世代と交わりながら、多様なライフスタイルを実現し、心身機能の回復を図る事を目的とし、閉じこもりや孤立を予防し、毎日が楽しく暮らせる支援を行っています。

福祉の中には、高齢者福祉と障害者福祉があります。が福祉を考える上で重要なことが、「健常者」と呼ばれる人たちの対応で、私たちの心の中にあるバリアを取り除くことです。ヘレンケラーの言葉の中に「障害は不便である。しかし不幸ではない」体の自由が利かなくなった人の、どうしてもできないことを、できる人が補うと言う 対等な立場からの視線が望まれています。

私たち福祉委員は高齢者や、障害者が生涯にわたって家族や社会とのかかわりの中で支援してゆく環境作りを大切に行きたいと思ひます。



老人クラブの活動報告

六ッ美西部学区老人クラブ

連合会長 柵木利幸

昨年、学区福祉委員会が発足し、地域に密着した活動を目指し、学区老人クラブも諸団体と協力して健康的な社会を作りたいと思っております。当老人クラブは次の活動をしております。

奉仕活動 小学校、神社等の清掃奉仕

健康活動 小学校へ雑巾の贈呈

友愛活動 親睦グラウンドゴルフ大会

各町内の高齢者宅に笑顔の訪問

ふれあい活動

一泊親睦旅行

写真、草取り奉仕の様子



写真、草取り奉仕の様子

高齢化率の高い中之郷町

西部学区四町の六十五歳以上男女と人口の割合、六ッ美四学区の割合を図に示したもので、老人の占める比率は二〇%と中之郷町（中之郷団地を含む）が他町の二倍以上を示しており若い人たちが少なく農村地域であることを示しております。学区の高齢化はどんどん進んでゆく方向にあり、こうした現実



を正面から受け止め、学区福祉のあり方を探っていくことが重要課題となるでしょう。

H17年4月1日現在（単位 人）

学区	人口	65歳以上男	65歳以上女	65歳以上計	比率
赤 浜 町	4,239	139	196	335	7.90%
中之郷町	1,364	112	161	273	20.01%
法性寺町	2,651	94	111	205	7.73%
宮 地 町	2,287	84	105	189	8.26%
西 部	10,541	429	573	1,002	9.50%
北 部	10,375	423	526	949	9.14%
中 部	5,267	436	542	978	18.56%
南 部	10,389	480	636	1,116	10.74%
岡崎市	355,359	22,702	29,644	52,346	14.73%



平成 18 年度事業計画

*広報誌発行 6 月

*激励訪問（年 6 回）

5、7、9、11、1、3 月

*小学校草取り奉仕

6、9 月

*敬老会 9 月

*健康講座 10 月

*ふれあいウオーク祭り 10 月

*先進地視察研修 12 月

*福祉講演会 4 月

平成 18 年度福祉委員会役員

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	石川保夫	元社教委員長
副委員長	畔柳伽乙留	総代会長
"	小島資行	社教委員長
"	柵木利幸	老人クラブ会長
"	松下義明	民生委員長
事務局長	伊藤忠良	宮地東総代
会 計	八田政弘	法性寺 1 区総代
監 査	杉田次郎	宮地西総代
"	前村正行	赤浜 4 区総代



ホームページ

<http://www.oklab.ed.jp/seibu/hukusihp/top1.htm>